

ダヨコ」、大田区の町工場一斉開放イベント「おおたオープンファクトリー」、土地区画整理・道路拡幅に伴う街路の再生を考える「石巻市役所大通りプロジェクト」など、多くのプロジェクトに関わることができました。これらのプロジェクトの中で、地域の方々と接する機会、自分たちで企画を考え実施する機会に恵まれ、「今、楽しいと思っていることを仕事にしたい」と思い、都市計画コンサルタントの(有)ハートビートプランに就職しました。当時の楽しかった、悔しかった記憶は今も根底にあるように思います。

会社が立地するのは大阪。就職するまで縁も所縁もなかった大阪ですが、5年目となる今は、友達、馴染みの場所も増えてきて大阪の街を満喫しています。この5年間で携わった仕事は、大阪の目玉商品となる水上クルーズの企画(舟運会社とフレンチレストランとの共同企画)、地域の歴史や暮らしの変遷をまとめた地域誌の企画・編集(大阪・北野地区)、風俗等の用途規制のための建築協定策定(大阪・戎橋筋商店街)、住宅等の用途規制のための建築協定策定(京都・久世工業団地)、公共的空間活用のルール・マネジメントの方針の検討(愛知県豊田市)、乙川を中心としたエリアの将来ビジョン策定(愛知県岡崎市)、食を切り口とした都市戦略の構想検討(大阪)など、街で起きていることの多様さを物語るような幅広い業務に関わらせて頂いています。

愛知県豊田市で実施した官・民が管理する公共的空間を使える場所へと開放する「あそべるとよたプロジェクト」の立ち上げでは、人がほとんどいなかった広場的空間のルールを「使いたい人が、きちんと責任を持つことで自由に使えるようにする」と変えることで、今までなかったコトが街なかで起きる、多様な人々が街で集うようになる、人と人の出会いによって、更に新しいコトが起きていく、という街の楽しい好循環の様子を身近で感じることができました。

このような業務に関わり、社会人4年目も過

ぎた頃から、私自身の仕事以外での街との関わり方について考えるようになりました。そのような中、立ち上げた企画が「旅するスナックしおり」。スナックと称したイベントを屋内外問わず街なかで開催し、全国を巡っていったら楽しそう。お酒と共にゆるやかな出会いがある場所をつくってみたい、何よりも、カウンターの中に立ってみたい!という想いが勝り、2018年10月に和歌山の空きテナントをお借りして、第1回を開催しました。この1回を開催して街への見方が変わってきているように感じます。当日の写真をみた方々から「次は○○○でやらない?」と思いがけない場所を提案して頂

いたり、逆に自分自身も「ここでやったら面白そう!」と妄想したりと今までない可能性を街に感じています。街は自分次第どこでも自由に遊び場にすることができ、居場所にもなる。企画する側にも、参加して楽しむ側にも自由になることができ、その立場をゆるやかに行き来できる。このことが、街の最大の楽しさだと改めて実感しています。

今後も、仕事、プライベート問わず、その街の可能性や楽しさを更に広げることに関わっていき、私自身も街を楽しんで行きたいと思っています。

(有限会社ハートビートプラン)



## 「街で遊ぶ」

岸本 しおり  
(平成20年入学)



2008年に地元・沖縄から上京し、建築学科に入学しました。横浜で迎える初めての春は、桜が綺麗で、想像以上に寒かったことを今でも覚えています。大学生活の中でも、特に、

都市計画研究室に所属した学部4年～院2年までの3年間の中で、和田町と大学をつなぐ「ワ